

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	小さな目のクジラ 津・久居			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月25日		～	令和8年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年 11月25日		～	令和8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の強みは会社方針でもある「楽しむ」ことです。 「楽しい」を感じて初めて継続という行動に繋がると考えてま す。	「楽しむ」事に関しては児童個々の「やりたい事」を聞き取り 実践できるように計画を行っています。 その際スタッフも交え成功体験を多く感じて頂けるよう支援を 行っています。 野外活動では遠方の遊園地、水族館等の施設を利用し集団での 協調性や計画に沿った行動の成長を図っています。	従業員間での児童の情報共有を強化し、誰がどの児童にも対 応出来るように連携を図っています。誰と接しても共感して もらえる状況を作り、より良い人間関係の構築を図ります。
2	AIセラピストco-miiの導入	認知、感覚、社会性などの7つの分野ごとに「はいorいいえ」 で回答する診断テストを実施。子ども一人ひとりに合わせて AIが特性を分析し診断結果を提示します。	データだけでは見えない部分がございますので、アセスメン トで得た情報をプラスし日々の支援へ水平展開していきま す。
3	送迎場所の対応	事業所管理のタブレットにてご利用者様にLINE登録をしてい ただき、急な変更等の対応を行っています。 重要な連絡に対しては印刷を行い掲示して対応。 ご自宅以外への送迎も保護者様からご連絡を頂き、臨機応変に 対応致しております。	事業所管理のタブレットであるため、営業時間外の返信対応 が難しい状況でしたが、持ち出し用のタブレットと事業所管 理のタブレットを同期し、時間外での確認対応も可能にしま した。持ち出し用は代表が管理しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イレギュラーな事案に対して対応出来る人材が少ない	保護者様、関係機関との連携を発管、管理者、代表と決まっ た人員で行っているため、その他従業員ではその場での判断対 応が難しく対応が遅れる。	事例をあげ、対応マニュアルを作成します。
2	送迎区の対応範囲が狭い	規程の従業員数は確保していますが、新規の学校区への対応が 難しい状況。新規のお問合せを沢山頂きますが、送迎に迎える 人材が不足している。	ドライバーの確保も視野に入れていますが、新規事業所を立 ち上げ、お迎えに迎える学校区の振分を行い対応出来るよう に整備していきます。
3			